

特集

プロポリス

原料供給・OEM・最終製品

希少難病・神経線維腫への可能性を啓もう

シクロケム

シクロケム（東京都中

央区、〒103-6262・

1511）では、201

9年に「コサナ ニュー

ジーランド」を設立し、

ニュージーランド産プ

ロポリスおよびマヌカハ

ニの原料調達からPB

を含む加工・輸入・バル

ク販売まで一貫体制を確

立している。自社製品で

はニュージーランド産プ

ロポリスとマヌカハニ

配合のキャンディーとス

プレーをグループ会社の

コサナより販売してお

り、風邪やインフルエン

ザの流行がピークとなる

冬場を中心に安定した人

気がある。

ニュージーランド産の

プロポリスは、桂皮酸誘

導体の一種・コーヒー酸

フェネチルエステル（C

APE）を豊富に含んで

いることが特徴。

CAPEは熱や酸に弱

く、安定性が低いことが

難点であったが、同社で

はプロポリスをγオリゴ

糖（γ-シクロデキスト

リン）で包接することに

より、CAPEの安定性

と溶解性を格段に向上さ

せることに成功。「NZ

プロポリス包接体」とし

て商品化した。

プロポリス特有の辛味

や風味が抑えられている
こともメリットだ。

CAPEの機能性につ
いては、神経細胞の分化
を誘導することで認知機

能の向上や抗腫瘍などの
効果が期待されているほ

か、2020年に実施し

た国立研究開発法人産業

総合研究所との共同研究

では、新型コロナに対す

る有効性が示唆された。

中でも、同社では希少

難病の神経線維腫症（N

F）に対する有効性に

注目しており、実際に利

用した患者やその家族か

らは症状の改善や進行の

抑制に効果があったとの

声も多く寄せられている

という。同社の寺尾啓二

社長は「NFは現時点で

有効な治療法や治療薬が

存在しないため、ニュー

ジーランド産プロポリス

の可能性を難病に苦しむ
患者さんに知ってもらえ
るよう、啓もうしていき
たい」と意気込んでいる。

特集Ⅶ 連載